

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2023年度 調査実施年度: 2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
経済学部	1	環境法 I 及び II	(1)	2	経法学部総合法律学科	小林寛	環境法に関する講義を総論(生成経緯・基本理念・原則等)と各論(大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・廃棄物処理・自然公園・生物多様性・気候変動等)に分けて行った。
	2	環境法務実習	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛	大学で学んだ環境法学が社会における業務の現場(行政、法律事務所、民間企業)においてどのように運用されているのかということを実践的に学習した。
	3	国際環境法	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛・横濱和弥	国際法の基本的な考え方並びに条約・国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則及び各論(気候変動、オゾン層破壊、有害廃棄物の越境移動等)を概説した。
	4	環境と憲法訴訟	(1)	3	総合法律学科	成澤孝人	日本国憲法における環境権について、憲法訴訟論の中で、その意義を解説した。
	5	国際政治	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	国際社会の課題、グローバルイシューズについて学ぶ。SDGsは課題解決へ向けた重要な国際的な目標と位置付けられる。
	6	SDGs: 平和 ゼミ	(1)	1	共通教育	美甘信吾	SDGsの中でも重要課題である「平和と戦争」について学ぶ演習形式の授業。
	7	海外インターンシップ研修	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	マレーシアプトラ大学との交流授業では、SDGsをテーマの一つとしている。
全学教育センター	1	生物と環境	(1)	1	全学部対象	今津道夫	さまざまな環境における生物個体群の分布や生活様式、生物群集における個体群間の相互作用、生態系の構造と機能について解説する。
	2	持続的「食・農・環境論」ゼミ	(2)	1	共通教育	浜野充	現代の科学肥料や石油燃料に頼る農業生産・流通システムと環境への負荷、さらに多くの食料を他国の農産物輸入に頼る食料システムの持続性について講義・グループワーク・実習で学び議論する。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2023年度 調査実施年度: 2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育センター	3	持続的「食・農・環境論」ゼミ	(2)	1	共通教育	浜野充	現代の科学肥料や石油燃料に頼る農業生産・流通システムと環境への負荷、さらに多くの食料を他国の農産物輸入に頼る食料システムの持続性について講義・グループワーク・実習で学び議論する。
	4	環境保全論入門	(1)	1	共通教育	浅野郁	現在国内外で問題となっている幅広い環境問題に関する知識を習得し、自身の考えを述べられるように情報を収集し分析する能力を養う授業。
	5	生物多様性保全ゼミ	(1)	1	共通教育	浅野郁	生物多様性に関する正確な知識の習得し、信州地域・日本国内で現在問題となっている生物多様性関連の問題と対策について調査・発表・議論するゼミ。
	6	環境マネジメント入門ゼミ	(1)	1	共通教育	浅野郁	環境マネジメントシステムや環境内部監査のポイントなどの基礎知識を習得し、現在企業や大学で行われている環境への取り組みを調査・発表・議論するゼミ。
	7	自然環境政策概論	(1)		共通教育	坂本真一	自然環境に関する政策を通じて、日本の統治制度や自然環境政策に関する背景や制度、方向性について学ぶ。
	8	環境リーダーシップ入門ゼミ	(1)		共通教育	坂本真一	環境問題を解決するために必要なリーダーシップを学ぶ。
	9	信州の国立公園を考えるゼミ	(1)		共通教育	坂本真一	信州の国立公園を題材に、国立公園に関する諸問題を探求する。また上高地や乗鞍岳に行き、国立公園の実際を体験して学ぶ。
	10	環境マインド実践基礎論	(1)	1	共通教育・横断プログラム	坂本真一	信州で環境分野で活躍する官民学の方々を招聘し、さまざまな場所での活躍やその際のマインドをお話していただく中で、それぞれのマインドの育成を図る。
	11	環境マインド実践ゼミ I	(1)	2	共通教育・横断プログラム	坂本真一	乗鞍高原をフィールドに、地域で取り組んでいる「のりくら高原ミライズ」を題材に、合宿形式のアクティブラーニングを実施した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2023年度 調査実施年度: 2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育センター	12	環境マインド実践ゼミⅡ	(1)	2	共通教育・横断プログラム	坂本真一	マレーシア・サラワク州を訪問し、海外の国立公園、野生生物保護、エコツーリズム、エネルギー問題に関連するところを訪問し、環境問題における国際感覚の涵養を図る。
	13	環境問題の社会学入門	(2)	1	全学教育センター	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
	14	環境共存の社会学入門	(2)	1	全学教育センター	金沢謙太郎	この講義を通じて、かつて人と環境の関係がどういふものであったのか、現在それがどういふ状態におかれているのかを見定める知恵や想像力を養います。
	15	信州生態資源ゼミ	(2)	1	全学教育センター	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	16	モノを辿るアプローチゼミ	(2)	1	全学教育センター	金沢謙太郎	このゼミでは、消費者の関心や想像力を広げるとともに、原産地の環境や生産者・労働者の暮らしを改善する知恵や方法論を探究します。
	17	社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的事例に基づいて考えていきます。
	18	日本国憲法	(1)	全	全学教育センター	小池洋平	日本国憲法を素材として、法的環境および政治的環境について概説した。
	19	現代社会における人権	(1)	全	全学教育センター	小池洋平	現代社会における人権問題を素材として、法的環境と政治環境で生じている問題を人権の視点からいかに解決すべきかを解説した。
	20	現代社会における統治機構	(1)	全	全学教育センター	小池洋平	現代社会における統治に関わる憲法問題を素材として、政治環境で生じている問題を法的にいかに解決すべきかを解説した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2023年度 調査実施年度:2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育センター	21	トレッキング	(1)	1	全学教育センター	廣野・加藤	1トレッキング1(1)1全学廣野・加藤「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題についての理解を深める授業。
	22	第四紀学	(1)	2	理学科・地球学コース	山田桂	過去260万年間の地球の様子がどのように変化したのか、その原因は何か、について、関連する知識をふまえて解説を行う。
	23	グリーンサイエンス通論2	(1)	2	理学部	山田桂ほか	地球環境、生態系、気候変動などをトピックスとして、オムニバス形式で理学に関する幅広い知識をつけるための講義を行う。
理学部	1	計測化学特論	(1)	修士1年	化学ユニット	高橋史樹	諏訪湖の採水を通じて環境への理解を深める。
	2	分析化学特論II	(1)	学部3年	化学コース	高橋史樹	分離分析に関する分配法則に基づいた廃液処理の知識・技術の理解の深める。
	3	分析化学演習	(1)	学部2年	化学コース	高橋史樹	河川水などの成分分析技術の紹介と、適切な分析化学方法の選択に関する知識および理解を深める。
	4	グリーンサイエンス通論 I	(2)	1	理学部・化学科	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	5	分析化学実験	(1)	2	化学コース	巽広輔・高橋史樹・金継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	6	グリーンサイエンス通論 I	(1)	1	数学科、物理学コース、化学コース、地球学コース、生物学コース、物質循環学コース	巽広輔ほか	環境分析のいくつかの項目を取り上げ、その測定法を解説した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2023年度 調査実施年度: 2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	7	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	8	物理化学II	(1)	2	理学部化学コース	飯山拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	9	物理化学III	(1)	3	理学部化学コース	飯山拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	10	物理化学実験	(1)	3	理学部化学コース	飯山拓、浜崎亜富、二村竜祐	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	11	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	12	物理化学 I	(1)	2	理学科・化学コース	浜崎亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義。
	13	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川厚、浜崎亜富ほか	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	14	グリーンサイエンス通論2	(1)	2	理学部	複数	グリーンサイエンスに関係する内容を6名の教員が分担して講義する。
	15	グリーンサイエンス通論 II	(2)	2	理学部	保柳康一	エネルギー資源と地球環境の関係。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2) 環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度: 2023年度 調査実施年度: 2024年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	16	地球史学	(1)	2	地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える。
	17	地学概論 I	(1)	1	理学部・農学部	吉田孝紀	地球環境の成り立ちを教える。
医学部	1	ユニット講義(社会医学・医療管理) 国際保健	(1)	6	医学部医学科	國井修	国際保健の重要性について授業を行った。
	2	ユニット講義(社会医学・医療管理) 微小粒状物質 PM2.5	(2)	6	医学部医学科	長谷川航平	微小粒子物質による健康影響について授業を行った。
	3	ユニット講義(社会医学・医療管理) 健康長寿長野における保健医療	(1)	6	医学部医学科	小林良清	健康長寿長野における保健医療の実際について授業を行った。
	4	ユニット講義(社会医学・医療管理) 環境保健・職業性胆管がん	(2)	6	医学部医学科	野見山哲生	印刷事業場で発生した事例を踏まえ、職場における環境保健について授業を行った。
	5	ユニット講義(社会医学・医療管理) 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	(1)	6	医学部医学科	野見山哲生	エコチル調査の概要、環境要因と子どもの成長・発達について授業を行った。
	6	社会・環境人間健康学概論	(2)	1	大学院修士課程	野見山哲生他	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。